

# Go for it !!

<https://toyono-jinikyo.com/>

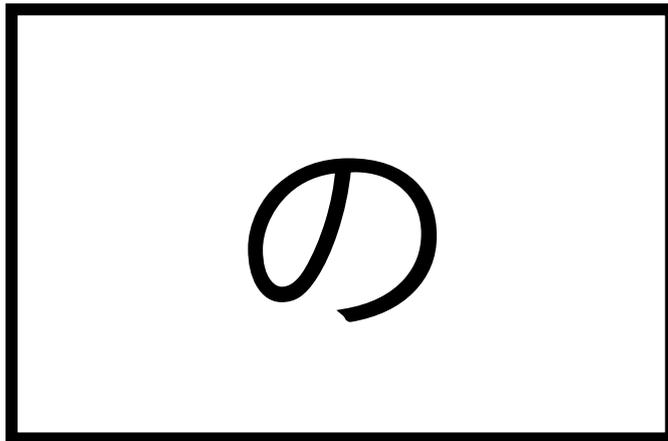
# 3

令和6年度(2024年度)  
5年経験者研修  
(中堅教諭等資質向上研修)

## ◇どう見ても、『の』!?

第3回の研修時に、皆さんには『現在のキャリアステージでの悩み』をワークシートに書いてもらいました。ワークシートは全て、第4回の講師の鎌田先生と共有しております。第4回の講義の中で、可能な限り皆さんの悩みに触れていただく予定です。

内容を見ていると、経験年数が自分より上の方とのコミュニケーションに難しさを感じている方が、特に多い印象を受けました。今回の通信では、より良いコミュニケーションの構築に向けて、『ものの見方』について書きたいと思います。



みなさんは上の文字は何と読みますか?おそらくほとんどの方が、『の』と読むと思います。では、他に読み方はないでしょうか?この用紙を左右にそれぞれ90度まわして読んでみると…『6』『9』(少し歪んでいますが…)とも読めなくはないですね。

このように、一つのものを見ている、見る方向や見方によっては全く違う解釈になるということです。

## ◇皆さんの今後の活躍を願って

普段のコミュニケーションでも同様のことがいえます。学校で起きる様々な事象も、人の数だけ見方があります。職場の同僚と意見が食い違っている時、お互いが別の立ち位置から『の!』『6!』『9!』と主張し合っても、一向に分かり合えません。そういう時は、同じ立ち位置からものを見る努力をしてみましょう。そして、その努力は『人を自分の立ち位置に連れてくる努力』ではなく、『自分が人の立ち位置に行く努力』です。なぜなら、人を変えるということは難しく、自分で簡単にコントロールできるものではありません。あの手この手で働きかけても、まったく変わらないなんてこともよくあります。労力に見合った結果が得られないことの方が多いわけです。

一方で、自分の見方は、自分の意識次第でコントロールができます。また、様々な経験を積むことで、自分の見方は広がっていき、一つの事象でも、様々な角度から捉えることができるようになります。また、人の立場に立ってコミュニケーションをとっていると、次第に人も自分の立場に立ってくれるようになります。

今後も多様な人々と協働していくうえで、『人を変えようとする前に、自分が変わってみる!』という柔軟な思考をもって、コミュニケーションをとっていきましょう。